

会員と千葉県連盟をつなぐ

# ちばニュース

2016年12月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2016年12月1日発行 通巻284号

創立50周年記念集會に

参加しよう!

## 12月号目次

・ 目次	2
・ 11月理事会報告	3
・ リレーエッセイ	5
・ 事故防止交流集会報告	7
・ 東日本女性交流集会	9
・ ムスタン報告	11
・ ゆうたより	13
・ 県連たより	14
・ 予定表	15

### 表紙説明

事故防止交流集会の参加者集合写真です。  
今回は、会場も変わり参加者も変わった印象でした。  
救助隊・教遭委員の皆さんご苦労様でした。

## 2016年11月理事会 報告

- 1、実施日 2016年11月17日(木) 19時より
- 2、実施場所 船橋市西部公民館
- 3、欠席会 まつど遠足クラブ1年さくら組・岳人あびこ・山の会らんたん  
市川山の会・あじさい山の会
- 4、議事
  - (1) 委員会報告
    - ①教遭委員会
      - ・4月からの事故5件
      - ・事故の分析アンケート11の会から提出があった。
      - ・事故防止経験交流集会(11月12~13日)  
12会から38名参加  
参加者の感想:内容が濃かった(特に2日目)もっと多くの人に参加したら。
      - ・直近の事故について茂原道標山の会から口頭報告  
11月6日 69歳男 妙義星穴岳、頂上直下より懸垂下降 ロープ長さ足りずに転落(末端処理なし)左足踝骨折 ヘリ救助
    - ②ハイキング委員会
      - ・第33回房総ロングハイク募集中
    - ③自然保護委員会 特になし
    - ④女性委員会
      - ・第15回東日本女性登山交流集会/富山  
千葉県連より11名参加(千葉こまくさHC4名 東葛山の会7名)
  - (2) 11月14日第3回6会合同会議報告(報告者・鶴田副理事長)  
第3回合同会議で以下のことが確認された
    - ① 6会は役員候補者1名を選出する。  
(今までの議論の中でどうしても出せないという会があったが、特例は作らず6回すべての会が1名選出)
    - ② 次回の合同会議(2017年1月23日)に6会は候補者名を選出する。  
6名の候補者より、三役3名を互選で選出する。決まらない場合は投票で決める。投票権は6会合同会議のメンバー(6会の代表者と理事の12名)  
今回、選出されなかった3会は次回役員候補者とする。
    - ③ 2017年2月、臨時総会(予定)を招集して新役員を選出する。
  - (3) 50周年事業関連
    - ①記念交流集会
      - ・2017年1月14日(土)・15日(日) 清和県民の森  
参加費 1,000円 参加者目標135人

- ・集会イメージ 第1部 型通りの式典 第2部 交流イベント  
具体案は実行委員会で決定する。
- ・参加申し込み 各会男女別人数（名前・住所を11月30日までに提出）  
実行委員名も提出（提出先 広木会長）
- ・交流集会 実行委員長：広木会長  
副実行委員長：桑原さん（松戸山の会）を選出した。

(4) その他

- ① ちば労山ゆう 東北支援報告  
11月12日（日）・13日（日） 福島南相馬地区 参加者10名
- ② 2017年度・会員数報告について
  - ・2016年11月現在の会員数（男女別）を報告して下さい。
  - ・報告・問い合わせは、広木会長まで
  - ・締切は 12月15日（木）県連理事会
  - ・2017年度連盟費算出の基本になりますので、正確に報告して下さい。

以上 鶴田 記

合同会での役員選出に関するまとめ

欠員役員の選出が出来ない状況が、長年続いている事を解決するため  
県連理事・会代表者の合同会議を実施した。

役員会・理事会から、以下の提案があった。

- 1、役員選出のルールをつくる事。
- 2、理事会活動を活発にするために、各会より2名以上の理事の選出。  
合同会議は、会員数上位6会の合同会議で討議・決定することを確認した。  
6会とは 1ふわくHC 2千葉こまくさHC 3ちば山の会  
4船橋勤労者山の会 5 東葛山の会 6松戸山の会

11月14日の合同会議で、具体的な3役選出について確認された。

- 1、6会より、次期役員候補者を1名選出する（次回合同会議に）。
- 2、6会の候補者から3役3名を、6会の互選で選出する。
- 3、今回選出されなかった会から、次期役員を選出する。
- 4、6会以外の会からも、役員選出をする。

次回合同会議は、1月23日に実施し、3役を選出して、臨時総会で決定  
する。3役以外の役員については、全会に選出をお願いします。

以上が役員選出に関する、合同会議の確認です。

各会には、県連役員・理事の選出は、全会の共同作業としてお願いします。

文責 県連会長 広木国昭

## 軽登山分科会 藤野芸術村散策（金剛山・高倉山）山行

桑原 年一（ハイキング委員長）

山行日 2016年10月22日（土）  
参加者 16名+△子供1才  
コース 新松戸 6:28 乗車—西国分寺 7:25/38—高尾 8:01/07—（甲府行き）藤野  
駅 8:21 着 8:30 出発～園芸ランド駐車場 8:45（自己紹介・体操）出発～  
緑のラブレター9:00/10京塚山 9:45/55～一本松山 10:20/25～車道 10:30  
～シュナイダー学園～葛原神社 10:50（鍋料理昼食）12:00 出発～金剛  
山 12:40/50～天神峠 13:10～高倉見晴らし台 13:20/30 山ノ目 13:35～高  
倉山 13:40/45～（芸術の道）車道 14:00～秋川橋 14:40～日蓮橋 14:50  
～藤野駅 15:00 着 15:10 高尾駅行乗車 適宜解散



集合写真です

今回の山行は老弱男女を問わず新人会員も含めての山行としました。  
選んだ場所も 300mそこそこの山（里山・芸術村）散策コースです。ここは以前から芸術（主に彫刻）の方々が住んでおり観光として町を挙げてアートを作成し、全体で 30 か所点々とあります。一番目につくのは藤野駅及び沿線から見える山の中腹にある「緑のラブレター」、高倉山の中腹にある「山ノ目」です。  
我々はそれを目指しての山行です。

藤野駅に到着、行き先確認、準備体操後出発です。天気は曇りながら降りそうもない。間もなく「緑のラブレター」の上部に到達、覗いてみると土台は鉄パイプで組み、上は白と赤とで出来ていて「これが遠くで見るラブレターか」と思う。

「愛の金」を鳴らして出発です。京塚山、三本松山と周り、一旦車道に出て、アートなど見ながら（ここから「山の目」が見えます）本日のイベント会場「葛原神社」をお参りして、脇の炊事場休憩舎に到着する。直ちに持ち寄った“うどん”“おでん”具沢山が揃い、手慣れた人達で素早く出来上がり、瞬く間に胃袋の中。外で食べると特に美味しいです。

満腹になった所で出発する。金剛山までは結構急騰です、一汗かいた上の山頂は南方が開けて良い眺めです。休んだところで次の高倉山目指して前進です。見晴らし台で休憩して次の芸術アート「山ノ目」の上部に到着、上から覗いて見たが「なんだか良く分からない」状態です。近づいてみてもラブレターと同じでやはり遠くで観た方が良さそうです。直ぐに高倉山の三角点を踏んで下山です。

車道に出たら後は芸術アートの幾つかを観ながら秋川橋、日蓮橋を渡り、藤野駅に到着です。直ぐに出発時刻の高尾行があり、慌てて乗車、そのまま流れ解散になり本日の山行は終了しました。ラブレター、山の目玉は遠くで観る方がよさそうです。

今回会員の子供「歩ちゃん」も加わり、和気あいあいの楽しい山行になりました。この山行は、私達老年者及びリハビリには丁度良いですが元気な方には物足りないと思います。たまにはこんな山行も良いかと思います。このコースの彫刻1～30まで歩いて観るのも一考かと思います。

次は千葉県匝瑳市の「飯高檀林跡」散策に行く予定です。



ラブレター近影



射影子午線

50周年記念集会に参加をお願いします。

**1月14日（土）13時～15日（日）10時位 清和県民の森**

で実施します。現在、参加者は47名の連絡がありました。

目標の135名に、あと一息です。会で誘い合って、集団で参加して下さい。

実務作業は1月になってから行います。（歌集・プログラムの作成等）

参加・協力をお願いします。

——実行委員長——

## 2016 事故防止・経験交流集会の報告

教育遭難対策委員会 岡田 賢一

去る11月12-13日、鴨川市大山青少年研修センターにて、2016 事故防止・経験交流集会が開催されました。

昨年まで（船橋県民の森：研修棟）よりは遠い会場でしたが、12会（\*）計38名の参加を得て、概ね好評裡に終了しました。

\*ちば山の会 千葉こまくさHC まつど遠足クラブ1年さくら組 東葛山の会 かがりび山の会 茂原道標山の会 山の会「岳樺クラブ」船橋勤労者山の会 君津ケルン山の会 シリウス☆山の会 松戸山の会 千葉アルパインクラブ

内容は、事故報告 事故防止への取り組み 筋トレ講習 に加え救急法講習 ロープワーク実技 ヒトココ実演と多岐に亘りました。

今回の纏めと反省は以下の通りであり、次年度以降に活かして行きたいと思います。

- ・当日の運営に関して。プロジェクター/スクリーン等の機器の準備・搬入等が、一部委員に偏り、かつ急用発生でバタバタした。当日の任務分担と講習会什器（スクリーン等）の県連保有も検討課題に。
- ・事故報告等 千葉県連内の事故報告に留まらず、全国レベルでの大きな事故に関する議論（グループ分けして内容検討：ケーススタディ等）も有って良い。また、議論の整理とまとめも在るべし。
- ・ロープワーク等実技 繰り返しの訓練は今後も有益で必要である。特に今回は、急斜面を使用しての下降実技が出来て、実用的だった。

そして、救助隊のメンバーを含め、各会の皆様に多大な協力を頂いて実施出来た事に御礼申し上げます。



### 安全は一日にしてはならず

15年度は12件でしたので半減しました。しかし、事故の内容を見ると、転倒・骨折4件（60歳以上）・膝靭帯損傷1件（50歳）と重大事故が発生しています。各会におかれましては、事故例に学び同種事故の再発防止の取り組みの実施をお願いします。ハイキングの事故だ、バリエーションルートには行かない、など言わずに「事故例の検討」「ヒヤリハットの発表」などを実行して下さい。

——編集者——

# 第15回東日本女性登山交流集会 in 富山 報告

報告者 海瀬 典子 (千葉こまくさHC)

- ・実施日： 10月9日(日)～10日(祝)
- ・会場： 国立立山青少年自然の家泊
- ・参加者： 千葉こまくさHC 4名 東葛山の会 7名  
全体参加者 11地方連盟 119名

## ◆1日目

受付後 胡弓、ピアノによるオープニングコンサートにより千葉からの長旅の疲れを癒した後いよいよ開会です。

### ・藤元理津子女性委員会委員長挨拶

今回のテーマは「文化としての登山～より豊かに、より楽しく・安全に」です。

安全の面においては、かつて、事故を起こすのは女性が80%と多かったが、先輩から後輩へと知識やテクニックの伝達や安全教育の普及の成果があり。昨年は転倒、滑落事故は215件で、女性104人男性119人とほぼ同数になった。今後も先輩から後輩へと伝えていくことが大事です。

又、日本勤労者山岳連盟の機関紙「登山時報」は山の楽しさや安全登山に必要な知識など、豊富に掲載され評価の高い機関紙であるが、購読者が会員数2万人に対し4千人と少ない。もっと普及したい。

### ・記念講演 フリーランスライター 柏 澄子氏

テーマ 「女性に向けて、人生それぞれのステージで息長く山を楽しむには」

2日前から、針の木岳に登り船窪小屋に寄ってきたと、さらりと言われる。

登山を通してのあれこれをテーマにして、ライターであり、ガイドでもある柏さんは、気負いのない言葉で、今までの山行を、テント泊や避難小屋利用なども含めて話された。更には、「本気合宿」というやり方を話された。山行参加者による事前ミーティング(勉強会)である。予定のルートと違うルートがないか、行けなくても考える。テーマを決めたり、文化や歴史も考えたりする。そして、一般常識の上にある登山であり、「人それぞれ」に自分なりの楽しみ方、やりたい事を見つけて欲しいと。

質問にも丁寧に答え、これからの活動など1時間半が短いと、思いました。

### ・講演 「活火山 阿弥陀ヶ原の噴火史と現状」

富山大学理学部地球科学科石崎泰男先生講演の報告

阿弥陀ヶ原は気象庁より「常時観測火山」に指定、また文部科学省より「重点観測火山」に指定されている。しかし、近代の噴火の記録がなし、観測データなしの状態であった。御嶽山の噴火後、もし阿弥陀ヶ原で大規模噴火が起きた場合、室堂への観光客や登山者は御嶽山の比較にならないほど多く、被害も甚大になると予想されるため、「何がモニターに有効か」と観測データを蓄積し始めた。

地層調査では1万年に7回の大規模噴火が起きていることが分かった。

火山灰の層の厚さで火口を推定すると、2400年前と4800年前の噴火(御嶽山の10倍の噴出があった)の火口はいずれも地獄谷であった。

- 1、最近では1946年と2006年に噴出があった。
- 2、地獄谷(雷鳥荘西側)で2007年から2010年の3年間で12cmの隆起があった。
- 3、大きな噴出から2500年経っている。

などから弥陀ヶ原は今危ないと言える。

気づかず噴出しているのではないかと思われる節がある。登山中、何かそのような音を聞いたなどあったら知らせてほしい。

「多様な女性登山者の現状とこれから」 引き続き柏澄子さんをかこんで年々女性の登山年齢が上がってくる中やはり家族の協力がなければ登山はできない。一般的な常識のうえにたった登山の技量、知識、コンセンサも必要だ。女性特有の疾病にも注意が必要で常に清潔にし冷え対策にも気を配らなくてはいけない。生活技術が向上し食べられるメニューが増え登山の楽しみも増えた。社会全体が健全でなければ楽しく安全な登山はできない。

山筋ゴーゴー体操の講習会、その後入浴、食事を終え最後は3班に分かれ交流分散会（フリートーク）になりました。それぞれが自己紹介、自分が思っている事、聞いてみたい事何でもお話して下さいとのことでした。会員が30名の会、50名の会と様々で入会しても長続きせず辞めてしまう、若い人の入会が少ない、リーダーが育たない、どの会においても同じ様な話がでました。千葉こまくさハイキングクラブの紹介をした際にAランクからDランクに分かれていて初級講座、リーダー講習会等があり意識を高めリーダーも務めなければならない事を話しました。これには（いいね！！）の声が沢山ありました。この班には柏澄子さんも入っていて、千葉県出身

千葉女子高校山岳部卒、大学も山岳部でしたが女子は一人だった事、今は葛西にお住まいとの事でした。山の本も沢山書かれていて、こんなに素敵な岳人女子が千葉県出身である事を嬉しく思うと同時に益々の活躍を願ってやみません。

## ◆ 2日目

10日は4コースに分かれての登山です。私達は材木坂～美女平のハイキングコースです。歩き易い平なコースと決め込んだのが間違いでした。立山駅から美女平まで1.5キロを2時間で直登するのです。深い森に迷い込んだ様に立山杉、ミズナラ、ホオノキ、草花も赤い実をつけての出迎えでした。37人の案内人は林野庁にお勤めで富山ハイキングクラブ顧問の平英影さん、他5人の方がサポートしてくださいました。美女平に到着してホッ～やっと平になったとおもいきやこれからが本番でした。アラアラこんなに急降下までもや立山杉が立ち並ぶ原生林ウォーク、霧に包まれた中に森の巨木達が次々現れ圧倒されてしまいました。それぞれに名前がつけられていて火炎杉、仙洞杉、おんば杉まだまだ沢山、どれも百年から二千年の樹齢だそうです。立山杉は長く雪に埋もれ成長が遅く10cmになるのも30年かかる。生憎立山連峰は望めませんでした。原生林ハイクはとてもよかったです。帰りはロープウェーに乗り一気に7分で下りました。北は青森、南は兵庫、埼玉、東京、お世話になった富山ハイキングクラブの皆様とここで別れ致しました。お世話になりました。

とにかく2日間があつという間でした。一日目の講演も時間が足りなくて山筋ゴーゴー体操の石田良江先生のお話も実施も駆け足です。しかし色々な会の様子を聞く事ができたのもうれしい事でした。ランクは設けてないが

とにかく一番遅い人にあわせる会、AからFまでランクがある会。ここまで来たのでせっかくだから薬師岳登るとか剣岳行くとか、いや昨日登ってきたとか皆さんほんとにパワフルで圧倒されました。私達ももっと安全に留意し楽しくいつまでも山に親しんでいたいなと思いました。

## ローマンタン・ホーストレッキング 報告（1）

広木 国昭（ちば山の会）

10月11日から約3週間、ネパールのムスタンに行って来ましたので報告します。1994年10月に初めてのネパールで、カリカンダキ川の河原を疾走する馬の上げる水しぶきが夕日に輝く光景を見て、馬でムスタンに行く事が夢になりました。

今回は、ネパール20回のメモリアルとして、長年の夢であったムスタンへのホーストレッキングを計画しました。

ムスタン旧王国には、「ポカラ」からアンナプルナ周遊コースの起点「ジヨムソン」に、そこからカリカンダキ川に沿ってムスタンの入口「カクベニ」に入ります。カクベニは、聖地ムクチナート巡礼・チベットの良質な岩塩等を運ぶ（塩の道）交易の起点として古くから栄えた集落です。

「ムスタン」は長い間鎖国政策をとってきました。ネパール領になってからも、外国人の立ち入りは厳しく制限され「禁断の王国」としてあこがれの地でした。ネパール政府は、1992年にムスタン立ち入りを解禁して多くのトレkkerが訪れている。現在は、年間500人前後に入域規制を行っている。入域には、政府公認のエージェントからの申請等が必要です。

ローマンタンへの道中は、荒涼とした乾燥高地に崩れかかったゴンパ（チベット仏教の寺院）・チオルテン（仏塔）が点在している。山地に樹木はなく、短い草類がまばらに生えている。風雨で浸食された山肌には、岩だけが残っている。今までに訪れたネパールの風景と違い、雪を被った山々・豊かな森や草原はなく、あこがれの白い山々はチベットとの国境に見られるだけである。

- ・1日目 カトマンズ —ポカラ（泊）
- ・2日目 ポカラ —ジヨムソン —カクベニ（泊）

2番機でアンナプルナ山群の上空を飛び「ジヨムソン」に到着する。

1994年初めてのネパールでジヨムソン街道トレッキングの時、ジヨムソン空港は未舗装で砂ほこりをあげての離着陸を思い出す。ジヨムソンは今回で4回目になる。乗り合いのポロジープでカリカンダキ川の河原を走り「カクベニ」に到着。前回泊まったニルギルが良く見えるホテルに宿泊する。カクベニは稲作や蕎麦の栽培が盛んで、畑では村人が共同で収穫作業が行われていた。



（カクベニからのニルギル）



（カリカンダキとカクベニ）

- ・3日目 カクベニ（7：00発） —サマル（泊）
- 今日からトレッキング本番、馬にまたがりローマンタンを目指す。  
天気は最高、宿の前に馬方さんと馬4頭が準備完了して待っている。

田畑も目立つ、水が豊富で樹木も多く落葉と牛糞で有機肥料になるのか作物もよく取れるそうだ。野菜類・ジャガイモ・トウモロコシ・麦・蕎麦が主である。麦・蕎麦は製粉して食べる。ダツタン蕎麦の蕎麦掻きは絶品です。

町はずれのチェックポストで入念な審査を受ける、カクベニはムスタンの入り口であることを実感する。チェックポストからは、カリカンダキ川沿いにローマンタンからチベットに続く交易路が良く見える。初めての地に足を踏み入れる期待と緊張感を感じる。この地域は、午後になると川下から強風が吹き気温が急に下がると同時に砂塵が飛んできて目を開けていられない事もある。午前中が行動のポイントである。



(最初は馬方がリードしてくれる)



(カリカンダキの河原を上流に向かう)

・ 4日目 サマル — ガミ (泊)

ガミは高度3,520mで夜は気温が極端に下がる。宿には掛け布団や毛布の用意があるが寝袋を持参して併用する。同時に、日が落ちると極端に冷え込むのでダウンジャケットなどの持参が必要です。

今回では最高度(4,200m)の峠を越える。

風景も緑がなくなり岩と砂の茶色が多くなり、空気も乾燥して気温も低くダウンの上に雨具を着る。それでも、少しの風や木陰では肌寒くこれから冬に向かい増々厳しくなる。11月になるとポカラ周辺に家族で避寒するとの事です。



(この岩を超えるとローマンタンが見え)



(今回の最高度 峠越え 4,210m)

カリカンダキから離れて、荒涼とした山岳地帯が続く厳しい風土の中での生活をして来た先人達の逞しさが随所に感じられる。そこに残されているチベット仏教の遺跡の多さは交易路として旅の安全を祈願した名残でもある。何より厳しい生活の中で宗教が大切であった事が実感出来る。

(次号でローマンタンとその周辺について報告します)

## ゆう便り NO22

報告者 長池 康夫 (ちば山の会)

- 1、日時 2016.11.12(土)～11.13(日)
- 2、参加 10名
- 3、活動場所 南相馬市小高地区
- 4、宿泊場所 峠の森キャンプ場(幕営)
- 5、活動内容

・11月12日(土) 民家の庭に積まれた  
雑木枝のトン袋収容

Mセンター長は、多くの支援Gへの作業説明を一人でこなしており、現場出勤前の忙しい時間帯、それは機敏に(しかし乱暴に!)行われ、ワラワラと慌ただしく現地へ出て行くのですが、やはり指示もその解釈も筋違いが生じてしまうことが多いのです。我々が受けた作業内容は“民家の庭端の法面の草刈りとトン袋への収容”でしたが、現地の法面に雑草はなく、庭に収容済のトン袋がいくつか残置されており、奥に伐採雑木類が山積みされておりました。

その情景を見て“雑木をトン袋に収容!”という解釈には必然性がありました。それで我々は大汗たらたらと雑木収容には不釣り合いなトン袋と格闘しながらも、山と積まれた雑木類をみごとに綺麗にトン袋に纏めて終了、帰って作業報告を行うと、何と、雑木類は環境庁の指示で袋に収容する必要がなくなり放置状態で良いのだと。作業内容は“草刈りとその収容”であると。

では、我々作業の必要はなかったわけで啞然とする思い。まあ、清掃効果は高く、

お住まいの方には好感をもってもらうと期待するものの、何とも舌足らずの作業指示でありました。



・11月13日(日) 農家の田の法面の伐採 この日も田圃の法面の伐採作業を要請されました。すでに一部伐採が行われ、今日はその続きを行うという作業計画書。ところが地図の現地へ到着してみると、その作業地区が特定できない。結局、昨日の求めることに。

車でやってきたセンター長の説明によれば、田圃の法面というよりは民家の庭から田圃へ降下する大きな急斜面のことでありました。

雑草だけでなく小灌木の混じった深い急斜面の雑草地でした。これは難物。刈払機をフル稼働させるしかあるまいとグオーンと大音を響かせて背丈にもなる草群に突っ込みます。“刈取り放し”で良いと言うのだから施工後姿に気遣いは不要なのですが、足場の悪さに耐えながら慎重に刈り進むのです。午前中で我々の予定時間が終了します。丁度刈払機の燃料が切れる時間とぴったりでした。

帰路、小高区行津の「星神社」に寄りました。国道6号線から見た紅葉に誘われて細道を入ってみますと、石造りの鳥居の奥に大樹の銀杏の黄・紅葉の赤・メタセコイヤの褐色が神社を包み込む風景がみごとでした。

では、また。



# 県連たより

## 千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所  
〒262-0033  
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18  
レジデンス幕張台 101 号室  
TEL・FAX： 043-306-1190  
Eメール：[rousanchiba@grape.plala.or.jp](mailto:rousanchiba@grape.plala.or.jp)  
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分  
(県連事務所に常駐者はいません)
- ◎ 千葉県連ホームページ  
<http://www.cwaf.jp>  
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ  
事務局への問い合わせまでお願いします。
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先  
教遭委員長・岡田 賢一  
[ken-ichi@f4.dion.ne.jp](mailto:ken-ichi@f4.dion.ne.jp)  
Fax：043-271-4704  
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず  
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先  
発行責任者：広木 国昭  
[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)
- ◎ 連盟費振込み先  
郵便振替口座 00160-3-481509  
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先  
口座番号：ゆうちょ銀行  
00240-8-98419  
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう  
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、  
ご意見・問い合わせなどは・広木まで

## NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」とは、東日本大震災を支援するために、千葉県勤労者山岳連盟を母体として活動を始めた、被災者支援NPO法人です。
- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は千葉県連盟ホームページから常時入会出来ます。
    - ・入会申し込みは  
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
    - ・「ちば労山ゆう」への問合せは  
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>
  - ◎ 支援活動日のお知らせ
    - ・12月支援活動はお休みです。
    - ・1月支援活動もお休みです。
  - ◎ 支援物資販売活動について
    - ・支援活動に参加する皆様の、交通費などの補助・被災地の復興支援に取り組んでいます。ご協力をお願いします。
    - ・三陸・気仙沼直送の支援物資は「おさしみわかめ」「さしみこんぶ」「くきわかめ」「すき昆布」「とろろこんぶ」です。常時用意していますので連絡をお願いします。

支援物資に関する問い合わせは  
[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)

県連活動予定表

1月		行事予定	12月		行事予定
1	日		1	木	
2	月		2	金	
3	火		3	土	
4	水		4	日	
5	木		5	月	
6	金		6	火	役員会
7	土		7	水	
8	日		8	木	
9	月		9	金	
10	火	役員会	10	土	
11	水		11	日	
12	木		12	月	
13	金		13	火	
14	土	50周年記念集会	14	水	
15	日	清和県民の森	15	木	理事会
16	月		16	金	
17	火		17	土	
18	水		18	日	
19	木	理事会	19	月	
20	金		20	火	ハイキング委員会
21	土		21	水	
22	日		22	木	
23	月	6会合同会議	23	金	
24	火		24	土	
25	水		25	日	
26	木		26	月	教育・遭難対策委員会
27	金		27	火	
28	土	房総ロングハイク	28	水	
29	日	〃	29	木	
30	月		30	金	
31	火		31	土	

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (事務所に常駐者はいません)

発行責任者：広木 国昭

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ